

総合相談

総合相談の相談員さんにインタビューしてみました！

総合相談では

板橋区には、相談の窓口がたくさんあります。

男女平等推進センター

「スクエア・I（あい）」

の総合相談は、男女平等

参画や性別による権利侵

害について相談したいな

と思ったときの窓口です。

相談では、DV、夫婦や親

子の関係、職場や学校で

のセクハラなどさまざまな悩みに女性の相談員が応

じています。30分から1時間ほどお話を伺い、相談

内容によっては関係機関と協力して解決に向けた支

援を行っています。

もっと専門的な相談が必要な方には、フェミニ

ストカウンセリングを紹介しています。DVなど専

門的なものは、必要な支援が「どういうところで

受けられるか」「どうしたらいいか」という情報提

供や専門相談員をご案内しています。

いろいろな相談の入口として

相談の中には、どこに相談したらいいかわから

ないという人もいます。話を聞くなかで、生活や

家庭内の問題等、福祉に関する悩みは福祉事務所

へ、思春期のお子さんの悩みは女性健康支援セン

ターへ、小さいお子さんや育児の悩みは子ども家

庭支援センターへというように相談先をご紹介します

こともあります。法律的な相談が必要な場合は、

関係機関をご紹介します。

身近で相談するのはちょっと…という方には東



京都の電話相談機関を案内することもあります。

また、男性の相談

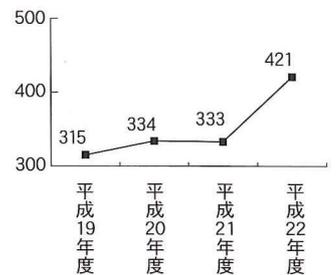
件数は女性に比べて

少ないですが、男性

の方からの相談もあ

ります。

総合相談件数の推移



相談を受けるときには…

「何でも相談してください」という気持ちで、まず、話を聞きます。そして、相談員のほうから何か言葉を返したとき、その言葉で相手を傷つけてしまうことがないように、言葉には気をつけています。せつかく一歩踏み出して、勇気を出して電話をかけたのに、「相談しなければよかった」と思われぬように、気をつけています。

悩みを持っていらっしやる方は、何回か相談を繰り返していくなかで、ご自分で方向を見つけていかれます。

ご自分のゆるお気持ちを整理していく感じですね。相談にもよりますが、なるべくこちらからは答えを出さな

いようにしています。自分で納得して出した答えならば、

自分で考えた答えだからということ、受け入れやすい

ようです。

「大変なことがあったんですね」と、気持ちを受けていくことしかできないので、相談を終えた後、見つめなおして「この相談でよかったのかしら…」という気持ちになります。

でも、険しい顔で相談にいらした人が、ほっとした顔で帰って行く時は、この内容でよかったのかなと思ひ、嬉しくなります。

「何かを誰かに相談したいな、聞きたいな」と思ったら

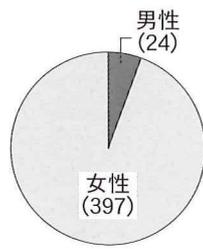
メッセージ

「何かを誰かに相談したいな、聞きたいな」と思ったら

メッセージ

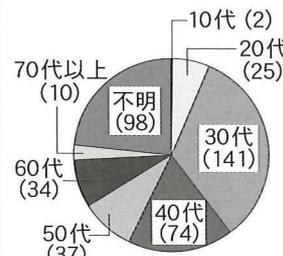
まず電話を下さい。また、男女平等推進センター「スクエア・I（あい）」の情報資料コーナーには、男女平等参画や自分らしい生き方に関する図書がたくさん置いてありますので、それを見るのも参考になると思います。普通のおばさんに話すという感覚でなんでも話してください。

総合相談男女別件数 (平成22年4月～平成23年3月)



計 421 件

総合相談年代別件数 (平成22年4月～平成23年3月)



計 421 件

相談日時
月曜日～土曜日
9時～17時（祝日・年末年始・施設点検日を除く）

相談方法
電話または面談
※フェミニストカウンセリング・DV専門相談実施日
土曜日は電話相談のみ

問合せ・予約
電話：031357912790
月曜日～土曜日
9時～17時（祝日・年末年始・施設点検日を除く）